

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>犯罪の起きにくい社会づくりと少年非行防止対策を推進します。</p>	<p>① 犯罪の起きにくい社会づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ より粒度の高い犯罪情勢分析を的確に行い、府民への積極的かつタイムリーな情報発信を行うとともに、増加・多発罪種や性犯罪、ひったくり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に便乗する特殊詐欺等の府民に不安を与える犯罪に対して、地域の実態に即した効果的な対策を推進し、犯罪の減少傾向を定着させ、府民の体感治安を高めます。 ○ 地域防犯力の向上に向け、地域住民、自治体、事業者、関係機関・団体等と連携した防犯ボランティア活動や防犯CSR活動を推進し、社会全体の防犯意識の高揚や防犯環境の整備促進を図ります。 ○ 在留外国人の定着化に伴い、国際交流及び多文化共生に向けた取組が広がる一方、増加・多様化が懸念される新たな事象に的確に対応するため、部門横断的な情報収集、分析等の強化と関係機関・団体等との適切な役割分担に基づく総合的な治安対策を一層推進します。 <p>② 少年非行防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 非行の低年齢化や大麻を始めとする少年の薬物乱用等の問題に対応するため、学校を始めとする教育機関等と連携した非行防止教室や薬物乱用防止教室を充実させ、少年の健全育成をより一層図るとともに、再非行防止に向けて、関係機関・団体等と連携した少年の立ち直り支援活動等を推進します。また、少年の特性に配慮した迅速かつ適正な少年事件捜査を進めるとともに、少年の健全育成を阻害する児童ポルノ事犯や児童の性を対象とした悪質性の高い福祉犯罪の取締り等を強化します。

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p>子供・女性・高齢者の安全確保と犯罪被害者支援の充実・強化を図ります。</p>	<p>① <u>子供・女性・高齢者の安全確保</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ストーカー事案、DV事案、行方不明事案、児童虐待事案、高齢者虐待事案等の人身危機事案に対する部門の枠を越えた迅速・的確な対処により、被害者等の安全確保を徹底します。 ○ 子供・女性・高齢者の安全確保に向け、関係機関・団体と連携した対象に応じた被害防止教室の開催や広報啓発活動、前兆事案の検挙・指導・警告措置を講じる活動等の取組を強化します。特に、登下校時における子供の安全確保に向けて、教育委員会・学校、自治体に加え、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携した取組を推進します。 <p>② <u>犯罪被害者支援の充実・強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等が被害から回復し、社会の中で再び平穏な生活を営むことができるよう、組織全体の犯罪被害者支援に関する知識・技能の向上やタイムリーな犯罪被害者等早期援助団体への情報提供の実施等の各種取組を充実・強化するとともに、社会全体で犯罪被害者等を支えていく気運の醸成を図るため、犯罪被害者等に対する府民の理解の増進と配慮・協力を一層促進します。

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
3	<p>府民に不安を与える犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の充実・強化を図ります。</p>	<p>① 府民に不安を与える犯罪の徹底検挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 凶悪犯罪、性犯罪、住宅侵入窃盗、特殊詐欺に加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関連した各種犯罪等、府民に不安を与える重要・悪質な犯罪について、徹底した初動捜査や現場鑑識活動、DNA型鑑定等を活用した科学捜査、犯罪防御システムの活用等により、検挙力を更に強化します。 ○ 発生直後における陸空の機動力を生かした迅速・的確な初動警察活動や積極的かつ先制的な職務質問に基づく現場検挙等により、早期に府民の不安を解消します。特に、特殊詐欺については、関係部門・所属間の連携の下、各種被害防止対策や犯行ツール対策を強化するとともに、犯行拠点の摘発や中枢被疑者の検挙等を徹底します。 <p>② 組織犯罪対策の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 六代目山口組と神戸山口組の対立の激化による特定抗争指定を継続中であり、また、その影響を受けた会津小鉄会の分裂も継続していることから、情報収集活動及び銃器や武器庫の摘発の強化等により抗争事件の発生を抑止し、さらに、違法薬物取引やみかじめ料の徴収といった各種違法行為の徹底した取締りや暴力団排除気運の醸成等を図り、暴力団の弱体化・壊滅へ向けた取組を加速します。 ○ 全国的には準暴力団が暴力団の下部組織等として違法な資金獲得活動を活発化させるなど、組織犯罪の実態が大きく変化しつつあることから、部門横断的な連携の下、京都府下の実態解明及び取締りを強化します。 ○ 犯罪組織が根付かないよう、外国人コミュニティ等の実態把握を着実に推進するとともに、不法就労に介在する悪質な仲介事業者等の取締りを徹底するなど、在留外国人の安全の確保に向けた環境づくりを推進します。 <p>③ 繁華街対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な繁華街の更なる定着化を図るため、暴力団・準暴力団情勢や国際化等による風俗環境の変化に対応し、悪質な風俗・雇用関係事犯の取締りと風俗営業等の健全化に向けた指導を徹底するとともに、地元商店街や関係機関との連携・協働による官民一体となった環境浄化活動、街頭防犯カメラ等の治安インフラの増強に向けた取組を強化します。

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
4	交通死亡事故抑止 対策の推進します。	<p>① 総合的な事故分析に基づく効果的な交通死亡事故抑止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故分析システム等を活用し、発生した交通事故の時間帯、場所、路線、人的・環境的要因等、多角的見地から総合的に分析した上で、交通規制、交通安全教育、交通取締り等を有効に組み合わせ、組織一体となり、交通死亡事故抑止対策を推進します。なお、交通安全の啓発については、SNSを活用した動画配信等の非接触型の活動を推進するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した対応の徹底を図ります。 <p>② 高齢者・子供の交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢運転者対策として、地域の実情に応じて、安全運転サポート車等の普及啓発や運転免許証を自主返納しやすい環境づくり等を推進する一方で、高齢歩行者対策として、交通安全モデル店舗等を拠点とした乱横断防止の広報啓発や反射材用品等の着用促進に向けた取組等を推進します。 ○ 子供の交通安全対策として、交通安全教育の充実や通園・通学路等における子供の安全な通行を確保するための道路交通環境整備、可搬式速度違反自動監視装置を活用した交通取締り等、総合的な交通安全対策を推進します。 <p>③ 悪質・危険運転者対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転や無免許運転、いわゆるあおり運転、ながら運転等の交通事故に直結する悪質・危険な交通違反を根絶するため、交通取締りの強化と迅速・的確な行政処分の執行等を徹底するとともに、運転免許の更新時講習等における交通安全教育や、あらゆる機会を通じた広報啓発等の取組を推進します。

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
5	<p>サイバー空間の脅威への的確な対応を行います。</p>	<p>① <u>サイバー空間の脅威への対応の強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバー空間と実空間の一体化が進む中、サイバー空間の脅威への対応に関する知見を部門横断に活用し、サイバー犯罪・サイバー攻撃の捜査、国の公安を脅かす事案の防止等を推進します。 <p>② <u>組織基盤の更なる強化と産学官と連携した取組の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織全体のサイバー捜査能力の底上げ、職員の情報リテラシーの向上、資機材等の充実等組織基盤を更に強化するとともに、関係機関や民間事業者・団体等と連携し、青少年や高齢者等のネットトラブル対応力の向上、事業者の情報セキュリティ対策の促進等、幅広い被害防止対策を推進します。

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
6	<p>テロ等違法行為の未然防止と緊急事態対策を進めます。</p>	<p>① テロ等違法行為の未然防止</p> <p>○ 世界が新型コロナウイルス感染症のまん延に目を奪われている現在も、依然として世界各地でテロが発生しています。こうした情勢の下、京都コンgres（第14回国連犯罪防止刑事司法会議）、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を控え、世界有数の国際観光都市である京都が国際テロの標的となるおそれは否定できません。また、右翼や極左暴力集団等によるテロ、ゲリラ事件の発生も懸念されます。このため、官民連携によるテロ対策を推進するとともに、テロ情勢に関する幅広い情報の収集と分析、大規模な祭礼やイベント、重要施設等に対する主催者・管理者対策や警戒警備の強化等により、テロ等違法行為を未然に防止します。</p> <p>② 緊急事態対策の推進</p> <p>○ 目下の最重要課題である新型コロナウイルス感染症への対処に向けて、関係機関との連携を強化し、各種取組に起因するトラブルの防止に向けた警戒活動や混乱に乗じた各種犯罪の予防・取締り等の徹底を図ります。また、近年は、台風や豪雨、地震等の自然災害により、毎年甚大な被害が生じているほか、東アジア地域における関係国間の緊張の高まり等に伴う緊急事態の発生が懸念されます。このため、平素からの関係機関との緊密な連携の下、情報収集態勢を拡充するほか、情報共有に努め、実戦的訓練の反復実施による初動態勢の早期確立と被災者の救出・救助能力の向上を図るなど、緊急事態対策を一層推進します。</p>

令和2年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標
7	<p>時代の要請・変化に適応する警察基盤の充実・強化を図ります。</p>	<p>① 警察機能を最大限に発揮できる組織・仕組みの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 官民一体となった新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組により、府民の日常生活や経済活動が制限され、社会環境の変化が進む中で、新たに生じる治安上の課題に的確に対応していく必要があります。こうした社会環境の変化に適応する警察運営に向け、必要な地域・社会への警察力配分の重点化、部門を超えた組織の連携、先端技術や既存のIT技術を活用した業務の効率化、抜本的な業務運営の改善、計画的な警察施設の整備・機能強化等、警察運営の合理化・効率化を推進します。 ○ ヒューマンエラーをカバーする仕組みの導入、職員の安全な職務執行に向けた装備資機材の充実・強化、交番等の警察施設のセキュリティ強化等、第一線における職務執行を支える取組を推進します。 ○ 時間外勤務の縮減や各種休暇の取得に係る意識の定着化、ハラスメント防止対策、女性職員の活躍推進、仕事と子育て・介護の両立支援等、組織全体で働き方改革等に取り組み、全ての職員がその個性と能力を最大限に発揮して、生き生きと働き続けられる職場環境を構築し、組織力を質的に強化します。 <p>② 組織を支える人材の確保・育成等による人的基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化、国際化、科学技術の発展等社会が急速に変化している中、社会情勢に柔軟に対応し、いかなる危機事象に対しても迅速・的確に対応するため、優秀な人材の確保、若手警察官の早期戦力化、幹部の指揮・指導能力の向上、具体的な場面を想定した実戦的な総合訓練の実施、警察事象の国際化やサイバー空間の脅威に対応し得る人材の育成等を図ります。 ○ 非違事案・不適切事案を防止するため、監察機能の強化を図るとともに、職務倫理教養の充実等による「誇りと使命感」の高揚や職員相互の絆を深める取組等による「強固な信頼」の醸成により、強靱な組織風土づくりを一層推進します。